

学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる」
～つながる力・まなぶ力・つくる力～

No.3 庄内西小学校だより

令和7年(2025年)4月16日発行 校長 黒木 優一

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください

3つのミッション

今年度も学校運営において、次の3つのミッションを掲げます。学校運営方針の詳細については、裏面をご覧ください。

- 令和8年(2026年)4月の義務教育学校『庄内よつば学園』開校まであと1年。3小学校1中学校(庄西小・庄南小・千成小・第七中)と連携しながらさらなる取り組みを進めます

今年度も学校教育目標を3小学校1中学校で統一し、「めざす学校像」や「めざす子ども像」を共有します。また、開校に向けて合同会議を行い、昨年度の話し合いをさらに発展させ、具体的なものにしていきます。教職員研修についても校内研修とは別に合同研修を定期的に行い、連携を強化していきます。子どもたちも3小合同で同じ内容(出前授業)を学習したり、宿泊行事を行う機会を増やしたり、子どもたち同士がつながる機会を増やします。(5年生の林間学舎、6年生の修学旅行に加えて、今年度からは4年生の林間学舎を3小合同で実施します。)市教委主催の保護者向けの説明会が開校まで数回おこなわれるそうです。

- 庄内西小学校閉校まであと1年。さらなる取り組みを進めます

閉校まで1年となりました。学校主催の行事と地域主催の行事に分かれることになりましたが、どちらも思い出に残るすてきな行事になるように学校と地域、学校と保護者の連携を強化していきます。学校主催の行事では1年生から6年生までの全クラスから実行委員を募集し、子どもたちが主体となったイベントを考えていきます。そのためにも昨年度力を入れた『こどもたちが主体となった活動』を今年度も普段の授業や特別活動(学級活動、委員会活動、クラブ活動、学校行事)において、積極的に実施していきます。

- 【スクール・エンパワーメント(SE)推進事業の指定校】2年目となり、今年度も豊中市内外の小中学校に向けて『学力向上』と『小中連携』の取り組みを普及・発信していきます

今年度も大阪府より【スクール・エンパワーメント(SE)推進事業の指定校】となりました。加配教員が中心となって、『学力向上』と『小中連携』の取り組みを豊中市内の全小中学校に向けて普及・発信していきます。9月11日(木)には、豊中市だけでなく大阪府の教職員に向けて学校公開を行います。昨年度までの取り組みを発展させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、すべての子どもたちの学力を向上させます。

「庄内よつば学園」の学校教育目標

めざす学校像 「つながりを大切に、自ら学び 未来をつくる」学校

めざす子ども像 「自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子ども」

主体「つながり 安心感」をキーワードに

つながる力

自らを深く見つめ、多様な仲間とつながる力

まなぶ力

仲間とともに、粘り強く意志をもって学び続ける力

つくる力

自らの将来を見つめ、よりよい社会をつくらうとする力

めざす子ども像実現に向けて、4-3-2のステージ制をひき、子どもたちに「3つの力」を段階的に育んでいきます。

	「つながりを大切にする」学校	「自ら学ぶ」学校	「未来をつくる」学校
第3ステージ(8, 9年)	子ども主体の自治活動をすすめ、相手の立場に立って考える共感力を高める 自分の意見を他者に伝え、他者の意見を取り入れてまとめる対話力を高める	子どもたちどうして考え、授業や活動をすすめる 目標に対するアプローチを明確に、すぐに正解を求めず探求的に思考をすすめる	自らの将来をみつめ、よりよい未来をつくらうとできる(自分で未来を切り開く) 多様性を受け入れ、自分と向き合う
第2ステージ(5~7年)	ちがいを認める教育活動(つながる多様な仲間)をすすめる 人との出会いにあふれる学校(異学年交流、地域交流)	小さな成功体験の階段をのぼる(小さな失敗を重ねながら自信をつける) 主体的に学習できる力(計画、目標、ふり返り)	行事は、自分たちで考え創りあげる どんな大人になりたいかイメージを持つ(本物との出会い、身近に働く人から話を聞く)
第1ステージ(1~4年)	自分の良さを見つけ、認める=自分が自分であって大丈夫(自己肯定感) 安心して過ごせる人間関係づくり	学びの根っこ(基本的な生活習慣、話す・聞く力)を育てる 異学年交流の学び合いを通して、分かる喜びをもつ	自分の好きなこと、得意なことを見つける みんなで一つのものを作り上げる

- 1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ、**
1年から9年までの子どもたちが、「主体・つながり・安心感」をキーワードに学校生活を送ることとともに成長していく姿を見守り、子どもたち一人ひとりの課題を見すえ、9年間の育ちや学びをていねいにたいていく指導を行う。
- 3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を4-3-2の3ステージで段階的に育む**
子どもたちにつけたい3つの力を育てるために、子どもの発達段階にあわせて、学年段階を4-3-2の3段階に区切り、各ステージごとに具体的な目標などを設定し、ステージにおける子どもの実態を反映した形での取り組みを行うなどきめ細やかな指導を行う。
- 対話力・共感力・表現力を高める「よつば独自カリキュラム」に取り組む**
多様な考え方、価値観をもつ人との出会いや活動を通して、子どもたち一人ひとりの対話力・共感力(エンパシー)を高めるとともに、自己肯定感・自己有用感を育てていく。そのために地域・関係機関と連携した独自カリキュラムを設定し、子どもたち自身が未来を切り拓いていける力を育む。
- 「よつばコミュニティスクール」で地域とともにある学校づくりをすすめる**
子どもたちの育ちや学びをサポートしていくために、「子どもたちの応援団」として地域・保護者の方々に学校の取り組みに参画していただくコミュニティスクールを組織し、地域とともにある学校づくりをすすめる。

指導区分	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
学習指導	学級担任を中心としたきめ細かな指導				教科担任制の導入			進路を見据えた学習指導の充実	
生徒指導	義務教育9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導								
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	小学校の学習指導要領を準用【前期課程】						中学校の学習指導要領を準用【後期課程】		

第1ステージ(1~4年) 第2ステージ(5~7年) 第3ステージ(8,9年)